

令和6年2月22日

安芸市福祉事務所
所長 長野信之 様

安芸市立土居保育所
所長 前田美智



令和5年度土居保育所園評価最終報告書

1 保育所における自己評価の記録

月	自 己 評 価
4	○ 園経営計画の作成 ○ 本年度の重点目標の設定（評価計画） ○ 園評価項目・指標の設定 ○ 職員への園経営計画・園評価計画の説明 ○ 保護者への園評価の説明
8	○ 中間評価の実施（職員の自己評価、園の自己評価）
9	○ 設置者への中間評価の報告、改善策の検討
11～12	○ 保護者へのアンケートの実施
1	○ アンケートの集計・分析 ○ 保育・教育活動と運営の振り返り
2	○ 最終評価の実施（職員の自己評価、園の自己評価） ○ 保護者へのアンケート結果の報告と設置者への報告 ○ 設置者への最終評価の報告、改善策の検討

2 最終評価結果

総括的な自己評価について

<成果>

① 保育・教育活動の充実

子どもの発達段階や、興味関心に応じて遊びの環境や内容を工夫してきたことで、自ら環境に働きかけたり、意欲的に遊びに参加し楽しむ姿が増えてきた。子どもへのかかわりや援助について、日々の記録や振り返りをしながら、職員間で共有や話し合いを行い実践につなげた。4・5歳児を対象に11月から絵本の貸し出しを始め、家庭で絵本を読む機会が増えている。

② 職員の育成・資質向上や運営

安全計画に基づいて、訓練や対応を学ぶ学習を行った。安全な環境についての意識が高まり、危険箇所や、害虫の発生、怪我の対応などについての共有や気づきにつながった。

研修会に参加することで保育を振り返り、子どもの姿や日々の保育について話し合う機会となっている。研修報告や資料の回覧などで学びの共有を行い、保育の向上につなげている。

③ 地域に開かれた園づくり

保護者との連携では、家庭訪問、参観日、懇談会、行事、お便りなどを通して、子どもの姿や保育への理解を深める機会を設けた。

小学校との連携・交流として、保小連絡会、行事での交流、授業参観、教職員との夏季交流、避難訓練時の場所の提供協力、5歳児の体験入学、5歳児の保護者に向けた学習会（講話）、引き継ぎのための支援ミーティングなどで連携ができた。

<課題及び主な改善策>

- ① 各年齢の発達を捉え、子どもの姿や成長と合わせながら、保育内容や援助について職員間で話し合ったり、共有しながら保育・教育活動を充実させていく。今後も、保育の振り返りと記録の充実に取り組み、保育実践に活かしていく。
- ② 6年3月に不審者・防犯についての訓練と学習会を予定している。6年度は学習したことをもとに実技を取り入れた訓練を行う。子どもが安心して過ごすことが出来るように、今後も、警察署、消防署などと連携した実践的な防犯・防災訓練なども取り入れ、職員の安全管理への意識やスキルを高めていく。
- ③ 保護者間の交流や懇談会、学習会、参観日などの場の提供を工夫していく。保育者の保育のねらいや願いが伝わるようなお便りの書き方、伝え方を意識して取り組む。
地域、小学校との交流をさらに深めていく。小学校と連携し、5歳児の保護者を対象に行っている就学や接続に向けた学習会（5年度は土居小学校長による講話）を、来年度も計画・実施する。

経営の柱	今年度の重点目標	評価項目	評価指標と評価結果				分析・考察
			取組指標	結果	成果指標	結果	
☆保育・教育活動の充実	身近な環境と関わる中で豊かな心と丈夫な身体を育てる	〔援助〕 一人一人の子どもの特性や発達、ねらい等に適した援助を行う	4 その子どもと周りの子どもの関係を意識しながら集団の中で一人一人を活かした援助をする	3.3	4 自ら環境に働きかけ意欲的に遊ぶ子ども 80%以上	3.4	子どもの発達段階に応じて、遊びの環境や内容を工夫してきた事で、意欲的に遊びに参加し楽しむ姿が見られる。子ども一人一人の発達を把握し、その子どもに応じた関わりや援助を意識して行った。
			3 一人一人の個性や発達を促し、その子らしさを大切に援助をする		3 70%以上		
			2 反省・評価や記録の整理を通して子どもの理解を深める		2 50%以上		
			1 明るい笑顔で子どもを迎え一人一人とコミュニケーションをとる		1 50%未満		
		〔指導計画〕 保育の振り返りと記録を充実させる	4 記録をもとに職員会などで報告・情報を共有し保育に活かす	3.8	4 記録と振り返りが出来、保育に活かした職員 90%以上	3.5	日々の記録や反省を記録していく中で、子どもの姿だけでなく、保育者の関わりや具体的な内容が分かるような記録の取り方を心掛けた。日頃から子どもの姿や育ち、保育について職員同士で話し共通認識を持つようにした。職員会で話し合った事や助言を実践し保育に活かした。
			3 保育の振り返り・反省・自己評価などを記録する		3 75%以上		
			2 保育や子どもの姿など気がついたことを記録する		2 50%以上		
			1 振り返りや記録を取る時間を確保する		1 50%未満		
◆職員の育成・資質向上や運営	職務分担が機能し、職員がお互いに協同する保育の構築と園内研修の充実を図る	〔安全管理〕 子どもが安心して過ごすことが出来る安全環境を整える	4 安全管理を意識し園が作成した安全計画やマニュアル等を理解し、より安全に安心して生活できる環境を工夫する	3.5	4 子どもがより安全に安心して生活できる環境を工夫している職員 90%以上	3.3	安全計画に基づいて避難訓練を行うとともに、熱中症、プール、水遊び、ケガ、病気などについての対応や注意点などについて学習し理解を深めた。子どもが安全に安心して生活が出来るように、物的・人的環境について職員間で話し合い工夫して取り組んだ。
			3 園が作成した安全計画を理解し意識して取り組む		3 75%以上		
			2 園が作成した安全計画を理解する		2 50%以上		
			1 園が作成した安全計画を知る		1 50%未満		
		〔研修〕 研修内容を共有し、職員が協力して課題に取り組む	4 研修内容を共有して課題を出し合い、全職員が協力して課題に取り組む保育を向上させていく	3	4 研修内容を話し合い協力して保育を行い、向上することが出来た	3.3	研修に参加することで保育を振り返り、子どもの姿や日々の保育について話し合う機会となっている。業務の多さから、話し合いの時間の確保が難しい場合もあるが、学びの共有や連携した保育が出来るように、伝え合いを大切にしていきたい。
			3 研修内容を共有し協力して課題に取り組む		3 保育の課題を共有し課題に取り組むことが出来た		
			2 職員会や学習会、必要に応じて会議を行い課題を出し合う		2 職員会等で課題の共有ができた		
			1 回覧や口頭で知らせる		1 研修内容を職員に知らせた		
◎地域に開かれた園づくり	保護者や地域との連携	〔保護者との連携〕 子ども達の姿や保育への理解を深める機会をつくる	4 必要に応じて家庭訪問や面談を行う	3.3	4 面談や訪問、学習会などを行ない保護者の思いに寄り添い対応できた職員 75%以上	3.5	保護者と共にという意識を大切に、保育のねらいや保育者の願いなどを知らせたり、保護者の意見を聞き、思いに寄り添った関わりや対応を心掛けた。保育懇談会を行い、子育てや保育について話し合い、子ども理解につながった。
			3 子どもの様子や子育てについて連携・共有できる機会を設ける		3 65%以上		
			2 保育の情報をわかりやすく発信する(園・クラス・行事・食育便り)		2 50%以上		
			1 登降所時間に子どもを中心とした話をする		1 50%未満		
		〔小学校との連携〕 相互の理解のもと子どもの育ちを、就学に向けてつなげる	4 保小連絡会や体験学習など通して情報交換をする	3.3	4 課題を共有しスムーズな接続につなげることができた	3	行事を通して、交流を持つ事が出来た。4、5歳児は小学校へ出向いての交流の機会を持つことができた。保小連絡会や就学に向けた学習会、引継ぎの場を持ち、就学に向けて情報交換を行った。
			3 職員間で交流し情報交換する		3 園の課題や子どもの気持ちを振り返り発達を見通した保育の実践につなげた		
			2 研修を通して理解をする		2 接続に関した学習を通して理解につなげた		
			1 行事を通して交流する		1 年長児が小学校を身近に感じる事ができた		